

2015(平成27)年度事業報告 附属明細書

自 2015(平成27)年4月
至 2016(平成28)年3月

公益財団法人 日中医学協会

目 次

役員等の改選	1
日中医学協会財団設立 30 周年記念事業	4
常任理事会（業務執行理事会）の開催	8
2015 年度委員会委員名簿	9
事業報告	
ア 研究助成事業	
1. 日中笹川医学奨学金制度	11
1) 第 37 期研究者受入事業	
2) 第 38 期研究者募集及び選考	
2. 共同研究等助成事業	12
1) 2015 年度共同研究等助成金受給者	
2) 2016 年度共同研究等助成金受給者選考	
3. 中国人医師・研究者招聘事業	15
1) 日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プロジェクト	
2) 腎臓内科医師育成プロジェクト	
イ 学術会議開催事業	
1. 主催事業	16
1) 日中医学交流会議：日中医学協会財団設立 30 周年記念シンポジウム	
2) 第 2 回日中医学交流フォーラム	
2. 共催・後援事業	17
1) 日中笹川医学協カプロジェクト：学術交流会（共催）	
2) 2015 年度医学生のための漢方医学セミナー（後援）	
ウ 日中医療協カ事業	
1. 日中笹川医学協カプロジェクト：笹川医学奨学金進修生同学会事業	18
2. 医療の国際化に係わる事業（経済産業省の事業等）	23
3. 専門家派遣事業	23
4. 医療関連訪日団招請事業	24
5. 訪中団派遣事業	26
6. その他医療協カ事業	26
エ 広報事業	
1. 機関誌『日中医学』の発行	26
2. 機関紙『NEWS LETTER』の発行	26
3. 中国医学・医療機関への機関誌『日中医学』のメール配信	26
4. 「International Chinese Journal of Dentistry」への協カ	26
委員会開催報告	
1. 共同研究等助成事業委員会	27
2. 医療協カ事業運営委員会合同委員会	27
3. 医療協カ事業運営委員会－日中笹川医学協カプロジェクト WG	27
4. 医療協カ事業運営委員会－日中医療交流推進プロジェクト WG	28
5. 広報委員会	28
6. その他の会議	29
総務報告	
I. 日中医学協会財団設立 30 周年記念事業	30
II. 財務基盤の拡充	
A. 会員拡大	30
B. 募金活動	30
C. 日本財団に対する助成金申請	30
III. 協会運営に係る事項	
A. 理事改選及び各委員会委員改選並びに各委員会規程等の改定	31
B. 日中医学協会将来検討委員会の設置	31
資料 1 日中笹川医学奨学金制度第 37 期研究者名簿	32
資料 2 日中消化器内視鏡診断治療・病理合同研修プロジェクト第 2 期研修生名簿	33
資料 3 日中医学協会役員等名簿	34

役員等の改選

1. 任期満了に伴う理事改選及び代表理事の選定

理事の任期満了に伴い、公益第7回理事会（2015年5月13日）の推薦を経て、公益第4回評議員会（2015年6月4日）に於いて理事が選任され、引き続き開催された公益第8回理事会（招集手続きの省略による臨時理事会）に於いて代表理事（会長、理事長）及び業務執行理事が選定された。

1) 理事の選任（任期：2017年度定時評議員会の終結の時）

氏名	所属	役職（選任時）
安達 勇	静岡県立静岡がんセンター	参与
跡見 裕	杏林大学	学長
新井 一	順天堂大学	医学部長
池谷田鶴子	順天堂大学国際交流センター	運営委員
江藤 一洋	一般社団法人アジアデンタルフォーラム	理事長
小川 秀興	学校法人順天堂	理事長
尾身 茂	独立行政法人地域医療機能推進機構	理事長
木村 政之	日本製薬団体連合会	理事長
近藤 達也	独立行政法人医薬品医療機器総合機構	理事長
庄田 隆	第一三共株式会社	相談役
高久 史麿	日本医学会	会長
手代木 功	塩野義製薬株式会社	代表取締役社長
林 謙治	国立保健医療科学院	名誉院長
林崎 良英	国立研究開発法人理化学研究所社会知創成事業 予防医療・診断技術開発プログラム	プログラムディレクター
日比 紀文	北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター	センター長
平岡 眞寛	京都大学（大学院医学研究科）	教授（研究科長補佐）
堀田 知光	国立研究開発法人国立がん研究センター	理事長
松原 謙二	公益社団法人日本医師会	副会長
三宅 養三	学校法人愛知医科大学	理事長
武藤徹一郎	公益財団法人がん研究会有明病院	メディカルディレクター・ 名誉院長
森岡 恭彦	日本赤十字社医療センター	名誉院長

2) 代表理事（会長、理事長）及び業務執行理事の選定（任期：同上）

代表理事	森岡 恭彦	会長
代表理事	安達 勇	理事長
業務執行理事	江藤 一洋	
業務執行理事	小川 秀興	
業務執行理事	林 謙治	

2. 監事の選任

杉本恒明監事の辞任による補欠選任及び監事の補充について、公益第7回理事会（2015年5月13日）の推薦を経て、公益第4回評議員会（2015年6月4日）に於いて監事が選任された。

1) 監事の辞任による補欠選任（任期：2017年度定時評議員会の終結の時）

星合 昊	大阪府済生会富田林病院	院長（選任時）
------	-------------	---------

2) 監事の選任（任期：2019年度定時評議員会の終結の時）

小野喜志雄	金沢大学附属病院先端医療開発センター	特任教授（選任時）
-------	--------------------	-----------

3) 任期中の監事（任期：2017年度定時評議員会の終結の時）

金井 淨	金井公認会計士事務所	公認会計士
------	------------	-------

3. 評議員の辞任に伴う補欠選任

庄田隆評議員（第一三共株式会社相談役）から、当協会評議員の辞任届があったため、公益4回評議員会（2015年6月4日）に於いて下記の通り補欠選任した。

公益第4回評議員会（評議員補欠選任）

補欠選任			辞任者	
氏名	役職	任期	氏名	役職
中尾浩治	テルモ株式会社 代表取締役会長	前任者の残任期間 (2017年度定時評議員会 の終結の時)	庄田 隆	第一三共株式会社相談役

4. 評議員、副会長の辞任に伴う補欠選任

中島信也評議員（公益社団法人日本医師会前常務理事）、黒川顕評議員（日本医科大学武蔵小杉病院院長）、大久保満男副会長（公益社団法人日本歯科医師会前会長）から、当協会評議員、副会長の辞任届があったため、安達勇理事長（代表理事）の提案により、公益第9回理事会（2015年9月2日）及び公益5回評議員会（2015年10月15日）のみなし決議を行い下記の通り補欠選任した。さらにその後、高木幹正副会長（公益社団法人日本歯科医師会前会長）から副会長の辞任届があり、公益第10回理事会（2015年10月30日）に於いて下記の通り補欠選任した。

公益第5回評議員会（評議員補欠選任）

補欠選任			辞任者	
氏名	役職	任期	氏名	役職
小林慶太	公益社団法人日本歯科医師会 常務理事	前任者の残任期間 (2017年度定時評議員会 の終結の時)	中島信也	公益社団法人日本歯科医師会 前常務理事
松本謙一	サクラグローバルホールディング 株式会社代表取締役会長	前任者の残任期間 (2017年度定時評議員会 の終結の時)	黒川 顕	日本医科大学武蔵小杉病院 院長

公益第9回・第10回理事会（副会長補欠選任）

補欠選任			辞任者	
氏名	役職	任期	氏名	役職
高木幹正	公益社団法人日本歯科医師会 会長	前任者の残任期間 (2017年度定時評議 員会の終結の時)	大久保満男	公益社団法人日本歯科医師会 前会長
山科 透	公益社団法人日本歯科医師会 会長	前任者の残任期間 (2017年度定時評議 員会の終結の時)	高木幹正	公益社団法人日本歯科医師会 前会長

4. 代表理事の辞任に伴う代表理事の選定

森岡恭彦理事と安達勇理事より代表理事（会長、理事長）辞任の申し出があり、10月30日の協会財団設立30周年記念行事終了後に開催された公益第10回理事会に於いて審議の結果、以下の2名を新代表理事に選定し、被選定者も席上その就任を承諾した。

代表理事（会長）	高久 史磨	日本医学会会長
代表理事（理事長）	小川 秀興	学校法人順天堂理事長

森岡恭彦理事は名誉会長、名誉会員に就任し、安達勇理事は副会長に就任した。

10月31日付けを以て、森岡恭彦理事は代表理事（会長）及び理事を、安達勇理事は代表理事（理事長）を辞任し、11月1日より新代表理事による新執行体制がスタートした。

5. 業務執行理事の選定

公益第8回理事会（2015年6月4日招集手続きの省略による臨時理事会）に於いて、業務執行理事の補充については新体制下で選定を行うとされていたため、公益第11回理事会（2016年3月9日）に於いて、以下の2名を業務執行理事に選定し、被選定者も席上その就任を承諾した。

業務執行理事	新井 一	順天堂大学医学部長
業務執行理事	日比 紀文	北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター長

日中医学協会財団設立 30 周年記念事業

2015 年に財団設立 30 周年を迎え、記念事業として、記念式典・記念シンポジウム・レセプションの開催、及び機関誌『日中医学』VOL. 30 NO. 4「日中医学協会財団設立 30 周年記念事業特集」を発行した。

(p. 16「学術会議主催事業」、p. 26「広報事業」参照)

1. 協会財団設立 30 周年記念行事

日 時：2015 年 10 月 30 日(金) 13:30～19:30

場 所：学士会館

後 援：厚生労働省、中華人民共和国国家衛生・計画生育委員会、中華人民共和国駐日本国大使館、公益社団法人日本医師会、日本医学会、公益社団法人日本歯科医師会、日本歯科医学会、公益社団法人日本薬剤師会、公益社団法人日本看護協会、公益社団法人日本女医会、日本製薬団体連合会、日本医療機器産業連合会

支 援：公益財団法人日本財団、公益財団法人笹川記念保健協力財団

参加者延数：250 名

中国からの参加者：38 名

馬曉偉 中国国家衛生・計画生育委員会副主任
李明柱 中国国家衛生・計画生育委員会国際合作司副司長
王 斐 中国国家衛生・計画生育委員会弁公庁主任科員
張曉博 中国国家衛生・計画生育委員会国際合作司主任科員
王雲亭 中日友好医院副院長
楊宏敏 中日友好医院国際交流室
高衛中 中国国家衛生・計画生育委員会国際交流センター主任
王 蓓 中国国家衛生・計画生育委員会国際交流センター副処長
宋 冰 中国国家衛生・計画生育委員会能力建設・継続教育センター副主任
羅 玲 中華医学会副秘書長
龐小英 中華医学会離退処主任
孫 偉 中華医学会弁公室副主任
孟慶龍 中華医学会対外連絡部副主任
李秀華 中華護理学会理事長
常永亨 中国食品薬品国際交流センター副主任
李文勝 北京大学医学部副書記
季惠斌 中国医科大学副書記
李向成 四川大学副書記
朱孔軍 中山大学副書記
曹景文 哈爾濱医科大学副書記
景 涛 笹川同学会副理事長、蘭州大学副学長
李忠金 笹川同学会秘書長、北京雅達翻譯有限公司総経理
韓晶岩 北京大学医学部中西医結合学系教授
李榴柏 北京大学公共衛生学院児童青少年衛生研究所副教授

左煥琮 清華大学第二附属医院玉泉医院院長
于殿文 清華大学第二附属医院玉泉医院弁公室主任
錢水賢 上海交通大学附属上海第一人民医院血管外科主任醫師・教授
夏寒松 上海浦南医院国際医療部部長
劉 佳 上海恒洋口腔門診部有限公司總經理・院長
周心寬 上海留日同学会理事、上海市医学会对外連絡部主任
周建平 上海諧誠医療器械有限公司銷售經理
倪聖超 上海諧誠医療器械有限公司銷售經理
李 珺 広東天普生化医薬股份有限公司業務発展部高級業務発展經理
劉少賓 中国駐日本国大使館臨時代理大使
阮湘平 中国駐日本国大使館科学技術処公使参事官
高 斌 中国駐日本国大使館臨時代理大使秘書
陳 喆 中国駐日本国大使館科学技術処三等書記官
盛弘強 中国駐大阪総領事館教育室領事

1) 記念式典 (13:30~14:45 於 ; 学士会館 210 号室)

挨拶 : 森岡恭彦 会長、日本赤十字社医療センター名誉院長
祝辞 : 塩崎恭久 厚生労働大臣
馬 曉偉 中国国家衛生・計画生育委員会副主任
劉 少賓 中国駐日本国大使館臨時代理大使
基調報告 : 安達 勇 理事長、静岡県立静岡がんセンター参与
特別講演 : 笹川陽平 日本財団会長

2) 記念シンポジウム (14:45~17:45 於 ; 学士会館 210 号室)

主 題 : 日本医療の国際展開と中国における日中医学協会の役割

第 I 部 : 日本医療の国際展開

座 長 : 日比紀文 理事、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター長

演 者 : 谷口英樹 横浜市立大学大学院医学研究科臓器再生医学教授

「ヒト臓器の創出を目指す戦略的 iPS 細胞研究」

演 者 : 松村啓史 テルモ(株)取締役副社長執行役員

「日本医療の国際展開—医療機器産業の立場から—」

指定発言者 : 高松 研 東邦大学医学部長

第 II 部 : 少子高齢化社会と日中の政策課題

座 長 : 林 謙治 業務執行理事、国立保健医療科学院名誉院長

演 者 : 宋 冰 中国国家衛生・計画生育委員会能力建設・継続教育センター副主任

「中国の人口政策—高齢者の健康対策—」

演 者 : 山下 護 厚生労働省社会保障担当参事官室政策企画官

「人口構造の急速な変化に備えた日本の健康長寿社会」

指定発言者 : 南 砂 読売新聞東京本社取締役調査研究本部長

3) レセプション (18:00~19:30 於 ; 学生会館 201 号室)

挨拶 : 安達 勇 理事長、静岡県立静岡がんセンター参与

祝 辞 : 横倉義武 日本医師会会長

祝 辞 : 羅 玲 中華医学会副秘書長

祝 辞 : 紀伊國献三 笹川記念保健協力財団会長

乾 杯 : 高久史磨 副会長、日本医学会会長

閉会挨拶 : 小川秀興 業務執行理事、学校法人順天堂理事長

2. 機関誌『日中医学』VOL. 30 NO. 4「日中医学協会財団設立 30 周年事業特集」

1) 掲載内容

(1) 財団設立 30 周年記念行事 (日中両言語掲載)

挨拶、祝辞、基調報告、特別講演、記念シンポジウム

(2) 座談会・インタビュー (日中両言語掲載)

主 題 : 日中医学交流の未来と日中医学協会の役割

テーマ I : 日中の医療協力

a) 座談会

日 時 : 2015 年 9 月 29 日(火) 18:00~20:30

場 所 : 協会事務所会議室

司 会 : 小澤邦壽 広報委員会委員、横浜市立大学客員教授

参加者 : 藤本康二 内閣官房健康・医療戦略室次長

光嶋 勲 東京大学医学部附属病院形成外科教授

薬師寺仁 東京歯科大学名誉教授

飯塚陽子 東京大学医学部附属病院糖尿病・代謝内科特任講師

b) インタビュー

日 時 : 2015 年 10 月 10 日(土) 09:30~11:00

場 所 : 中国・広州市

インタビュアー : 山田陽城 広報委員会副委員長、東京薬科大学薬学部特任教授

インタビュイー : 姚 新生 中国工程院院士、暨南大学薬学院名誉院長・教授、瀋陽薬科大学元学長

日 時 : 2015 年 11 月 10 日(土) 09:30~11:00

場 所 : 筑波大学

インタビュアー : 山田陽城 広報委員会副委員長、東京薬科大学薬学部特任教授

インタビュイー : 本間真人 筑波大学医学医療系臨床医学域臨床薬剤学分野教授、同大学附属病院薬剤部長

テーマ II : 少子高齢化社会と日中の政策課題

a) 座談会

日 時 : 2015 年 10 月 23 日(金) 18:30~20:30

場 所：中国・北京市

司 会：林 謙治 業務執行理事（広報事業担当）、国立保健医療科学院名誉院長

参加者：王 振耀 北京師範大学中国公益研究院院長

宋 冰 中国国家衛生・計画生育委員会能力建設・継続教育センター副主任

杜 鵬 中国人民大学社会・人口学院老年研究所所長

b) インタビュー

日 時：2016年2月9日(火) 10:30～12:00

場 所：日本看護協会

インタビュアー：緒方 剛 広報委員会委員長、茨城県古河保健所所長

インタビュイー：中板育美 日本看護協会常任理事

(3) 記念行事概要、寄附者一覧（個人・法人）、活動年表（30年のあゆみ）

3. 財団設立30周年記念事業に対する寄附（協賛）

寄附金総額：9,070,000円

個人：60名

浅村尚生、安達 勇、跡見 裕、新井 一、飯塚陽子、池谷田鶴子、和泉 徹、市原 学、稲葉憲之、大友克之、緒方 剛、小川秀興、小野喜志雄、加我君孝、金井 淨、金子 讓、木村 理、呉小玉、小暮信人、小林寛伊、近藤高明、齋藤洋一、櫻井 勇、佐藤公彦、箕田健生、下村克朗、杉本恒明、鈴木一幸、須藤寛人、住吉金次郎、高橋和久、高松 研、田口鐵男、田平 武、杜子威、中川原章、中村理枝、鍋谷欣市、南原利夫、西岡安彦、橋本敬太郎、長谷川恒雄、林 謙治、日暮 眞、平岡眞寛、範江林、三木秀隆、水野瑞夫、宮武光吉、武曾惠理、武藤徹一郎、森岡恭彦、山田陽城、山本敏行 他6名
(2016年2月末日までに掲載の承諾を得た方のみ芳名掲載、五十音順、敬称略)

法人：12団体

公益社団法人日本医師会、公益社団法人日本歯科医師会、公益社団法人日本看護協会、公益財団法人東京生化学研究会、日本製薬団体連合会（加盟企業各社）、一般社団法人日本医療機器産業連合会、オリンピック株式会社、株式会社島津製作所、株式会社JIMRO、テルモ株式会社、東レ株式会社、富士フィルム株式会社

(順不同)

常任理事会（業務執行理事会）の開催

開催年月日	議事事項	会議の結果
2015. 04. 23	公益第 9 回（第 242 回）常任理事会 ○ 公益第 7 回理事会の議案について ○ 2014 年度事業報告・決算報告（案）について（公益第 7 回理事会－第 1・第 2 議案） ○ 2015 年度収支予算修正について（公益第 7 回理事会－第 3 号議案） ○ 規程等の制改定について（公益第 7 回理事会－第 4 号議案） ○ 医療協力事業運営委員会改編及び委員会規程改訂（公益第 7 回理事会－第 6 号議案） ○ その他	全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承
2015. 10. 15	公益第 10 回（第 243 回）常任理事会 ○ 公益第 10 回理事会（臨時）の議案について ①代表理事（会長、理事長）の辞任に伴う代表理事の選定について ○ 業務執行理事の補充選定および業務執行理事の業務分担の新理事長一任について ○ 日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プロジェクト第 2 期～第 5 期事業の協定書締結について ○ 中国衛生計生委能力建設和継続教育中心（略称：継続教育中心）との意向書締結および今後の推進体制について ○ 中日友好医院と協議書締結した 6 事業分野の今後の推進体制について ○ 日本財団に対する助成金申請について ①定例事業の助成金申請 ②日中笹川医学奨学金制度発足 30 周年記念事業（日中医学交流大会 2016 東京/仮称）の助成金申請および推進体制について ○ 中国人医療関係者の訪日研修等に係る受託費用の見積基準について ○ 日本医師連盟推薦参議院議員比例代表候補予定者自見はなこ氏に対する推薦について ○ その他 ①中国衛生計生委の提案（日中医学協会と中国衛生計生委国際合作司との「業務包括協定」の締結）について ②2015 年度日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン、科学技術振興機構事業）への申請について ③2016 年度共同研究等助成事業について	全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承
2015. 12. 3	公益第 11 回（第 244 回）常任理事会 ○ 日中笹川医学奨学金制度第 5 次制度のあり方について ○ マイナンバー制度に関わる諸規程の制定について	全員一致了承 全員一致了承

	○ 内閣府認定等委員会の立ち入り検査への対応について ○ 役員等の協会会員への入会要請について	全員一致了承 全員一致了承
2016. 02. 17	公益第 12 回（第 245 回）常任理事会 ○ 公益第 11 回理事会議案について ○ 日中笹川医学奨学金制度第 5 次制度のあり方について ○ 中国国家衛生計生委の提案（日中医学協会と中国国家衛生計生委国際合作司との「業務包括協定」の締結）について ○ 育児・介護休暇規則の変更について	全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承 全員一致了承

2015 年度委員会委員名簿

1. 共同研究等助成事業委員会（任期：2015 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日）

委員長 武藤徹一郎 理事、がん研究会有明病院メディカルディレクター・名誉院長
副委員長 跡見 裕 理事、杏林大学学長
委員 五十嵐正広 がん研究会有明病院内視鏡診療部部长
今井 裕 日本歯科医学会副会長、獨協医科大学医学部特任教授
金井 Pak 雅子 東京有明医療大学看護学部看護学科長
杉山 清 評議員、星薬科大学副学長
菅村 和夫 宮城県立がんセンター発がん制御研究部特任部長
高本 眞一 三井記念病院院長
松村 英雄 日本歯科医学会副会長、日本大学歯学部教授
御子柴克彦 理化学研究所脳科学総合研究センター シニア・チームリーダー
安原 眞人 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科薬物動態学分野教授
渡辺 純夫 順天堂大学大学院医学研究科消化器内科学教授
渡邊 治雄 国立感染症研究所名誉所員
渡邊 善照 昭和薬科大学薬剤学教授

2. 医療協力事業運営委員会

（2015 年 5 月 13 日開催公益第 7 回理事会に於いて改編、任期：2015 年 5 月 13 日～2017 年 3 月 31 日）

委員長 江藤 一洋 業務執行理事、アジアデンタルフォーラム理事長
副委員長 新井 一 理事、順天堂大学医学部長
日比 紀文 理事、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先端治療センター長

3. 医療協力事業運営委員会－日中笹川医学協力プロジェクトWG

（任期：2015 年 5 月 13 日～2017 年 3 月 31 日）

委員長 新井 一 業務執行理事、順天堂大学医学部長
副委員長 田平 武 順天堂大学大学院認知症診断・予防・治療学客員教授
委員 岡野 友宏 昭和大学名誉教授

林 謙治 業務執行理事、国立保健医療科学院名誉院長
平岡 眞寛 理事、京都大学大学院医学研究科放射線医学教授

4. 医療協力事業運営委員会—日中医療交流推進プロジェクトWG

(任期：2015年5月13日～2017年3月31日)

委員長 日比 紀文 業務執行理事、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先端治療センター長
副委員長 五十嵐正広 がん研究会有明病院内視鏡診療部部长
委員 小野 裕之 静岡県立静岡がんセンター副院長・内視鏡科部長
落合 淳志 国立がん研究センター先端医療開発センター臨床腫瘍病理分野長
田邊 聡 北里大学医学部新世紀医療開発センター低侵襲光学治療学教授
八尾 隆志 順天堂大学大学院医学研究科人体病理病態学教授
九嶋 亮治 滋賀医科大学医学部臨床検査医学講座教授

5. 広報委員会 (任期：2015年4月1日～2017年3月31日)

委員長 緒方 剛 評議員、茨城県筑西保健所所長
副委員長 山田 陽城 評議員、東京薬科大学薬学部特任教授
委員 飯塚 陽子 東京大学医学部附属病院糖尿病・代謝内科特任講師
上塚 芳郎 東京女子医科大学医学部医療・病院管理学教授
小澤 邦壽 横浜市立大学客員教授
新谷 誠康 東京歯科大学小児歯科学主任教授
須並 英二 日本赤十字社医療センター大腸肛門外科部長
高橋 和久 評議員、順天堂大学大学院医学研究科呼吸器内科学教授
範 江林 評議員、山梨大学大学院医学工学総合研究部分子病理学教授
輪湖 史子 日本看護協会国際部部长
担当理事 林 謙治 業務執行理事、国立保健医療科学院名誉院長

事業報告の明細

ア 研究助成事業

1. 日中笹川医学奨学金制度

2013年5月17日、日本財団尾形武寿理事長と中国国家衛生・計画生育委員会馬曉偉副主任により調印された「日中笹川医学協力プロジェクト協定」により「第4次日中笹川医学奨学金制度」としてスタートした。実施・運営は、当協会と笹川医学奨学金進修生同学会（以後、笹川同学会）が担う。

1) 第37期研究者受入事業

(1) 来日

2014年7月14日からの募集及び2015年10月18日の選考を経て、第37期研究者7名が2015年4月8日に入国した（名簿後掲）。

(2) 歓迎式典の開催

開催日：2015年4月9日(木) 16:00～18:45

場 所：日本財団ビル 第1～3会議室

出席者：第37期研究者 7名

指導教官・中国大使館・日本財団・笹川記念保健協力財団・協会の役員・委員、笹川同学会等 56名（中国から笹川同学会の趙 群/理事長・10期生、李忠金/秘書長・12期生、許 順/副秘書長・15期生が出席した）

概 要：本制度研究者認定書を授与した。翌日、研究者は各自の研究先へ移動し、研究を開始した。

(3) 第27回研究者セミナーの開催

開催日：2015年10月1日(木)～3日(土)

場 所：日本財団ビル 第3～4会議室

出席者：第37期研究者 7名

日本財団・笹川記念保健協力財団・

協会の役員・委員、笹川同学会等 18名（中国から笹川同学会の李忠金/秘書長・12期生、孫大為/理事・10期生、中日友好医院の田献氢国際交流合作弁公室主任が出席した）

概 要：第一部では、研究者一人一人が自身の研究面・生活面について日本語と中国語で発表した。第二部では、医療協力事業運営委員会と第37期生との座談会を行った（事前に調査したアンケート結果をもとに実施）。

セミナー終了後、テルモメディカルプラネックス、静岡県立静岡がんセンターを参観し、日本の医療について知見を深めた（2日）。

(4) 中国国家衛生・計画生育委員会馬曉偉副主任との懇談

10月30日に行われた協会財団設立30周年記念行事に臨席するため来日した馬曉偉副主任の希望で、第37期生との懇談を行った。

開催日：2015年10月30日(木) 14:45～15:15

場 所：学士会館 203号室

(5) 研究報告会・研究修了式の開催

開催日：2016年3月29日(火) 16:00～20:00

場 所：日本財団ビル 第1～4会議室、食堂

出席者：第37期研究者 7名

指導教官・日本財団・笹川記念保健協力財団・協会の役員・委員、笹川同学会日本支部等 41名

概 要：研究者一人一人、一年間の研究成果を発表した。最も優れた研究報告を行った者に与える「奨励賞」と日本語が最も上達した者に与える「日本語優秀賞」を出席者全員で選び、孫志鵬（首都医科大学附属北京世紀壇医院/東京大学医学部附属病院）と孫艶彬（中国医科大学附属第一医院/東京大学医学部附属病院）がそれぞれ受賞した。研究修了式では研究者全

員に修了証を授与した。研究者は 3 月 30 日から 4 月 8 日までの間に各自で帰国した。

2) 第 38 期研究者募集及び選考

2016 年 4 月に来日する第 38 期研究者を選抜した。

(1) 募集

第 38 期研究者の募集は、2015 年 7 月 15 日に中国国家衛生・計画生育委員会弁公庁名で中国各省衛生庁へ公布され、9 月 30 日まで行われた。

(2) 選考

開催日：2015 年 10 月 24 日(土)

場 所：珀麗酒店(北京市)

選考員：林 謙治 協会業務執行理事、医療協力事業運営委員会一日中笹川医学協力プロジェクト WG 委員

田平 武 協会医療協力事業運営委員会一日中笹川医学協力プロジェクト WG 副委員長

岡野友宏 協会医療協力事業運営委員会一日中笹川医学協力プロジェクト WG 委員

李 平 中日友好医院臨床研究所 研究員・11 期笹川生

陳 欣 北京積水潭医院副教授・18 期笹川生

太田晶子事業担当と李忠金同学会秘書長が同席した。

内 容：申請者 41 名のうち、中国側書類選考(第一次選考)で選抜された 32 名が面接試験(第二次選考)を受験した。面接試験は、候補者が得意とする言語(英語または日本語)で行い、仕事/業績・成果等(20 点満点)、研究/目的の明確性、将来性等(20 点満点)、語学能力/聴力・会話力等

(50 点満点)、協調性(10 点満点)で評価し、29 名を合格とした。合格者のうち 4 名が所属機関の都合で辞退したため、最終合格者は 25 名となった。

(3) 来日前実施事業

① 日本語研修(同学会主催)

期 間：2015 年 11 月 11 日(水)～2016 年 1 月 10 日(日)

場 所：中国医科大学外国語研修センター(遼寧省瀋陽市)

受講者：日本語未修者 23 名

② オリエンテーション(協会主催)

期 間：2015 年 12 月 25 日(金)

場 所：中国医科大学外国語研修センター(遼寧省瀋陽市)

概 要：協会職員の高高娃事業担当が来日に向けての準備や日本滞在期間中の事項等についてのオリエンテーションを行った。

2. 共同研究等助成事業

1) 2015 年度共同研究等助成金受給者

2015 年度は助成対象分野を「基礎医学・薬学」とした。

(1) 調査・共同研究助成 6 件

〈基礎医学系〉

① 成相 直 東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科准教授

研究テーマ：「日中のもやもや病多発家系における全エクソーム解析による人種差を超えた真の病因遺伝子の探索」

共同研究者：段 煉

中国人民解放軍 307 医院脳血管センター脳神経外科教授

② 崔 星 放射線総合医学研究所重粒子医

- 科学センター次世代重粒子治療
プログラム主任研究員
- 研究テーマ：「重粒子と分子標的薬 Lapatinib
や Pertuzumab との併用による乳
癌幹細胞殺傷効果」
- 共同研究者：于 冬
蘇州大学放射線医学防護学院教授
- ③ 貫名 信行 順天堂大学大学院医学研究科
神経変性疾患病態治療探索講座
客員教授
- 研究テーマ：「神経変性におけるタンパク質
凝集の制御機構の解明」
- 共同研究者：王 光輝
蘇州大学薬理学講座教授
- ④ 余 福勲 長崎大学熱帯医学研究所
ウイルス学助教
- 研究テーマ：「重症熱性血小板減少症候群
(SFTS) 迅速診断試薬の開発」
- 共同研究者：許 汴利
河南省疾病予防コントロールセ
ンター教授
- ⑤ 小室 一成 東京大学大学院医学系研究科
循環器内科学教授
- 研究テーマ：「食塩感受性高血圧の発症にお
ける炎症細胞の役割」
- 共同研究者：鄒 雲增
復旦大学附属中山医院上海市心
血管研究所教授
- 〈薬学系〉
- ⑥ 寺坂 和祥 名古屋市大学大学院薬学研究科
生薬学講師
- 研究テーマ：「ウスバサイシンにおけるアリ
ストロキア酸の蓄積機構の解明」
- 共同研究者：袁 丹
瀋陽薬科大学中薬学院教授
- (2) 若手日本在留中国人研究者助成 2件
〈基礎医学系〉
- ① 夏 巨峰 東京大学大学院医学研究科
臓器病態外科学講座大学院生

- 研究テーマ：「肝細胞癌における漢方薬
Cinobufacini 及び doxorubicin
併用投与有効性の検証」
- 指導責任者：國土 典宏
東京大学大学院医学研究科臓器
病態外科学講座主任教授
- ② 駱 予倩 国立感染症研究所
ハンセン病研究センター
感染制御部第8室研究生
- 研究テーマ：「らい菌のマクロファージ内寄
生分子機構における peroxisome
proliferator-activated
receptors (PPARs) シグナルの
関与」
- 指導責任者：鈴木 幸一
国立感染症研究所
ハンセン病研究センター
感染制御部第8室室長
- 2) 2016 年度共同研究等助成金受給者選考
2016 年度は助成対象分野を「臨床医学・社会
医学・歯学・看護」とした。
- (1) 調査・共同研究助成 6件
共同研究等助成事業委員会の選考により、21
件の応募の中から6件を採択した。
- 〈臨床医学系〉
- ① 李 予昕 日本大学医学部板橋病院先端心
血管画像解析学分野助教
- 研究テーマ：「遺伝性高コレステロール血症
ウサギにおける冠動脈不安定プ
ラークに対する GLP-1 受容体作
動薬の効果」
- 共同研究者：林 清飛
福建省武夷山市立病院循環器内
科副院長・部長
- ② 市丸 直嗣：大阪大学大学院医学系研究科先
端移植基盤医療学准教授
- 研究テーマ：「臓器保存液への非破壊的水素
含有処理による臓器保存効果の

検討」

共同研究者：陳 剛

華中科技大学同済医学院附属同
済医院器官移植研究所教授

- ③ 岳 鳳鳴：信州大学学術研究院医学系組織
発生物学教室助教

研究テーマ：「リプログラミングによるグリ
ア芽腫由来癌幹細胞の創出と漢
方薬選択」

共同研究者：康 林

河北医科大学解剖学教室准教授

〈社会医学系〉

- ④ 吉田 貴彦：旭川医科大学医学部教授・学長
補佐

研究テーマ：「慢性砒素中毒症状改善および
砒素関連発癌抑制に対する砒素
曝露軽減効果の検証」

共同研究者：皮 静波

中国医科大学公共衛生学院院長
・教授

〈歯学系〉

- ⑤ 岡村 裕彦 徳島大学大学院医歯薬学研究部
口腔組織学分野准教授

研究テーマ：「口腔内細菌 P. endodontalis に
よる歯槽骨吸収とヒストン脱メ
チル化酵素 Jmjd3 の役割」

共同研究者：楊 諦

中国医科大学附属口腔医院牙体
牙髓科講師

〈看護学系〉

- ⑥ 吉井 初美 東北大学大学院医学系研究科精
神看護学分野准教授

研究テーマ：「中国におけるがん患者家族の
メンタルヘルスと不調関連要因
の特定」

共同研究者：劉 風侠

河北医科大学第四医院看護部
副主任護師

----次点

- ① 余田 佳子 兵庫医科大学公衆衛生学助教

研究テーマ：「中国武漢市における大気汚染
物質が幼児の呼吸器系に与える
影響の解明」

共同研究者：馬 露

武漢大学公共衛生学院副教授

(2) 若手日本在留中国人研究者助成 2件

共同研究等助成事業委員会の選考により、22
件の応募の中から2件を採択した。

〈臨床学系〉

- ① 張 奕宙 広島大学大学院医歯薬保健学研
究院消化器・代謝内科研究員

研究テーマ：「小胞体ストレス応答を標的と
した新規肝細胞癌治療薬の探索」

指導責任者：茶山 一彰

広島大学大学院医歯薬保健学研
究院副学長・教授

〈歯学系〉

- ② 唐 佳 北海道医療大学歯学部う蝕制御
治療学分野特別研究員

研究テーマ：「Elucidation of the role of
Nephronectin in the proliferation,
differentiation and mineralization
of odontoblast」

指導責任者：斎藤 隆史

北海道医療大学歯学部長・教授

----次点

- ① 馮 曉敏 熊本大学国際先端医学研究機構
特定事業研究員

研究テーマ：「新規骨髄ヒト化マウスを用い
たエピジェネティック依存性白
血病化の分子機序」

指導責任者：滝澤 仁

熊本大学国際先端医学研究機構
特別招聘准教授

3. 中国人医師・研究者招聘事業

1) 日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プロジェクト

目的：中国における消化器内視鏡分野と病理学分野の連携における学術的な開拓人材となりうる内視鏡専門医と病理専門医及び内視鏡領域と病理領域の緊密な連携を促進する意思のある診療科及び病院の管理責任者を組織して訪日団として派遣し、日本で研修することにより、先進医療技術及び消化器内視鏡専門医と病理専門医の緊密な連携に関する理念と実践を理解し、自己の職場における実践に活かし、消化器内視鏡専門医と病理専門医との連携レベルを強化させることにより、消化器早期がん診断能力向上を達成し、両国の当該分野における交流と協力を促進することを目的とする。

実施団体：日中医学協会、中国国家衛生・計画生育委員会国際交流センター

(1) 第1期事業

第1期生派遣機関の管理者を招請し、研修生受入れ機関及び指導教官と本プロジェクトに関する意見交換を行った。

① 南京鼓楼医院管理者招請

期間：2015年4月20日(月)～24日(金)

訪問先：静岡県立静岡がんセンター、北里大学北里研究所、順天堂大学医学部附属順天堂医院、東京都健康長寿医療センター

訪日者：景 抗震 医務処副主任医師
王 雷 消化器内科副教授
樊 祥山 病理科副主任医師

② 山東省第二医院管理者招請

期間：2015年5月25日(月)～29日(金)

訪問先：静岡県立静岡がんセンター、北里大学北里研究所、順天堂大学医学部附

属順天堂医院、東京都健康長寿医療センター

訪日者：趙 昇田 院長

趙 小剛 医療分管副院長

郭 建強 内視鏡センター主任

③ 事業評価の実施

日時：2015年8月28日(金)

訪問先：クラウンプラザ新雲南（北京市）

出席者：

日本側：

日比紀文 協会理事、医療協力事業運営委員会・日中医療交流推進プロジェクトWG委員長

本田伸吾 協会事務局長

岡田光子 協会事務局次長

中国側：

李兆申 第二軍医大学長海医院消化器内視鏡センター主任、中華消化器内視鏡学会主任委員

王貴齊 中国医学科学院腫瘍医院内視鏡センター主任

刑高岩 中国国家衛生・計画生育委員会国際交流センター副主任

王 蓓 中国国家衛生・計画生育委員会国際交流センター副処長

戴 維 中国国家衛生・計画生育委員会国際交流センタープロジェクト主管

評価：第1期事業（パイロットプロジェクト）の事業評価を行い、第2期事業から以下の通り変更することとした。

A) 病院長等の管理者が同時期に来日するのは困難であるため、35歳以上の一定の経験のある若手の内視鏡医と病理医を対象とする。

B) 往復国際運賃を中国側負担とし、研修人員を10名→12名程度に増員する。

(2) 第2期事業

① 協定書締結

2015年10月22日(木)、協会と中国国家衛生・計画生育委員会国際交流センターとの間で第2期～第5期協定書が締結された。

② 第2期生招請

期 間：2016年2月17日(水)～3月18日(金)

研修生：5病院10名(名簿後掲)

研修先：順天堂大学医学部附属順天堂医院、東邦大学医療センター大森病院、がん研究会有明病院、静岡県立静岡がんセンター

2) 腎臓内科医師育成プロジェクト

目 的：慢性腎臓病治療における先進医療技術の修得

期 間：2015年6月1日(火)～2016年5月31日(火)

研修生：徐 寧 天津市第一中心医院腎臓内科主治医師

指導責任者：内田俊也 帝京大学医学部内科学講座腎臓グループ教授

イ 学術会議開催事業

1. 主催事業

1) 日中医学交流会議：日中医学協会財団設立 30周年記念シンポジウム

2015年10月30日(日)、中国国家衛生・計画生育委員会馬曉偉副主任らを招聘し、学士会館に於いて財団設立 30周年記念シンポジウム(日中医学交流会議)を開催した。

主 題：日本医療の国際展開と中国における日中医学協会の役割

第Ⅰ部：日本医療の国際展開

座 長：日比紀文 理事、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター長

演 者：谷口英樹 横浜市立大学大学院医学研究科臓器再生医学教授

「ヒト臓器の創出を目指す戦略的 iPS細胞研究」

演 者：松村啓史 テルモ株式会社取締役副社長執行役員

「日本医療の国際展開—医療機器産業の立場から—」

指定発議者：高松 研 東邦大学医学部長

第Ⅱ部：少子高齢化社会と日中の政策課題

座 長：林 謙治 業務執行理事、国立保健医療科学院名誉院長

演 者：宋 冰 中国国家衛生・計画生育委員会能力建設・継続教育センター副主任

「中国の人口政策—高齢者の健康対策」

演 者：山下 護 厚生労働省社会保障担当参事官室政策企画官

「人口構造の急速な変化に備えた日本の健康長寿社会」

指定発議者：南 砂 読売新聞東京本社取締役調査研究本部長

(p.4「日中医学協会財団設立 30周年記念行事」参照)

2) 第2回日中医学交流フォーラム

日中医学交流フォーラムは日中医学協会、中華医学会、天津武田薬品有限公司が協力し、中国と日本で隔年開催するフォーラムで、第2回目を日本で開催した。

開催日：2015年5月13日(水) 09:00～12:30

場所：ザ・プリンスさくらタワー東京

主催：日中医学協会

協力：中華医学会、天津武田薬品有限公司

参加者：中国人専門家26名、日本人専門家27名

概要：フォーラムは消化器、内分泌、婦人科、神経内科/神経外科の4部門に分かれて、日中各1名の座長と日中各2～3名の発表者、さらに日中各数名のディスカッサントにより行われた。フォーラム終了後、双方の専門家同士の交流が随所で見られた。

午後は、中国の専門家は各部門に分かれて、内分泌部門は東京大学医学部附属病院、神経内科/外科部門は杏林大学医学部附属病院、消化器と婦人科部門は東邦大学医療センター大森病院の施設をそれぞれ見学した。

後援：日中医学協会、日本TCM研究所、天津中医学院

参加者：講演者17名、受講生32名

2. 共催・後援事業

1) 日中笹川医学協力プロジェクト：学術交流会

【共催事業】

2015年9月12日(土)、中国・甘粛省蘭州市に於いて笹川同学会主催の学術交流会が開催され、同学会理事、同学会会員、甘粛省衛生・計画生育委員会、日本財団等約50名が出席した。

(p.20「学術交流会の開催」参照)

2) 2015年度医学生のための漢方医学セミナー

【後援事業】

開催日：2015年8月4日(火)～9日(日)

場所：里湯昔話 雄山荘 (滋賀県大津市)

主催：小太郎漢方製薬株式会社

ウ 医療協力事業

1. 日中笹川医学協力プロジェクト：笹川医学奨学金進修生同学会事業（笹川同学会事業）

1) 中国国内研修事業

(1) 短期総合診療研修

・中国医科大学（遼寧省瀋陽市）

期 間：2015年8月31日(月)～9月26日(土)

実施責任者：

許 順 中国医科大学第一附属医院胸部外科教授（15期生）

受講者：15名

河南省・甘肅省等の二級病院に勤務する医師

研修内容：

「全科医学論理与循証実践」（于曉松編）に沿った座学及びフィールドワーク

専門家派遣：

日比紀文 協会理事、医療協力事業委員会副委員長（北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター長）が8月30日(日)～9月1日(火)の日程で訪問し、講演及び事業評価を行った。岡田光子事務局次長が同行した。

講演：「日本の総合診療医のサービスモデル」事業評価：

中国医科大学の全科医学科（総合医療科）の全面的協力を得て、趙 群学長（10期生）をはじめとする多くの笹川同学会会員が中心となって実施しており、同大の全科医学科は全国でもレベルが高く、内容面でも、運営面でも充実した、地方の医師養成という中国の医療政策に合致した研修であった。

一方、中国の目指す全科医（総合医）の概念が普及していない日本から中国へ提供できる技術・技能は少なく、日本とのつながりが少ない分野であり、今後の実施においては、日本財団助成事業としての有効性を再考する必要がある。

(2) 短期診療技術・技能研修

・産科救急：協和医科大学協和医院（北京市）

期 間：2015年8月9日(日)～15日(土)

実施責任者：

孫大為 協和医科大学協和医院婦産科主任医師（10期生）

受講者：10名

寧夏回族自治区・内モンゴル自治区等の二級病院に勤務する医師

研修内容：

午前中はカンファレンスと病棟回診、午後は講義を実施

講義内容：

①女性生殖系統炎症の診断治療の発展

②Treatment of Female Pelvic Floor Dysfunction

③妊娠期高血圧疾病

④北京協和医院産科周産期保健の規定

⑤産後出血

⑥Dysfunctional uterine hemorrhagic disease の概念と治療の進展

⑦卵巣囊腫のねじれと破裂

⑧早期妊娠中絶

⑨子宮外妊娠の診断治療及び生育

専門家派遣：

星合 昊 協会監事（大阪府済生会富田林病院院長）が8月9日(日)～11日(火)の日程で訪問し、講演及び事業評価を行った。李高娃事業担当が同行した。

事業評価：

研修実施機関である協和医院のスタッフの負担も大きいですが、現在の研修形態は非常に好評なので可能な限り持続できるように協力していきたい。以下に個人の意見を述べる。

A. 情報を得る機会が少ない医療従事者たち（地方の二級病院等）に、より多くの同様の機会を作るべきである。

a) 協和医科大学協和医院、中日友好医院等、実施経験のある施設で、各年に2～3回同様の研修会を企画する。

- b) 産婦人科の笹川留学生は少ないが、その中で主任教授または企画できる立場の人のいる各地の施設で、近隣から集めて同様の研修会を開く。
 - c) 地方の病院で近隣からの研修生を集め、笹川留学生や今回の研修受講者を講師・指導者として企画する（講義中心）。
- B. 研修会をビデオに録画し多くの病院に配布する（講義だけでなく実習も含まれると望ましい）。

・ **老年介護実用技術：中日友好医院（北京市）**

期 間：2015年8月25日(水)～9月22日(火)
 実施責任者：
 陳秀琴 中日友好医院国際診療部主管護師
 （29期生）
 受講者：15名
 甘肅省・新疆ウイグル自治区等の二級病院に勤務する医師
 研修内容：
 老年看護全般に関する講義及び実習
 備 考：本田伸吾事務局長が開講式に出席した。

・ **超音波：西安交通大学第一附属医院(西安市)**

期間：2015年10月16日(金)～18日(日)
 実施責任者：
 阮驪韜 西安交通大学教授
 受講者：10名
 山西省・陝西省・河北省・河南省・安徽省の二級病院に勤務する医師
 研修内容：部位毎の診断に関する講義及び実習
 専門家派遣：
 平岡眞寛 協会理事、医療協力事業運営委員会－日中笹川医学協力プロジェクトWG委員（京都大学大学院医学系研究科教授）と梅岡成章（大阪赤十字病院放射線科副部長）が10月15日(木)～18日(日)の日程で訪問し、講演及び事業評価を行った。太田晶子事業担当が同行した。
 講 演：「超音波検査日本での一般的な検査事例」

事業評価：

超音波講習会に対する需要は大きく、継続する意義はある。他の領域ほど日中間のレベルの差は大きくなく、専門家も育っている印象を受けた。

・ **腹腔鏡：中南大学湘雅医院（長沙市）**

期 間：2015年11月8日(日)～20日(金)
 実施責任者：
 李永国 湖南旺旺医院名誉院長（1期生）
 徐迅迪 中南大学湘雅第二医院教授
 （21期生）
 受講者：9名
 雲南省、海南省、安徽省、四川省及び重慶市の県レベルの病院に勤務する医師
 研修内容：
 腹腔鏡手術の基本技能訓練、動物実験、手術実演、講義
 専門家派遣：
 日比紀文 協会理事、医療協力事業委員会副委員長(北里大学北里研究所病院炎症性疾患先進治療センター長)と阿部展次(杏林大学医学研究科外科学准教授)が11月7日(土)～10日(火)の日程で訪問し、講演及び事業評価を行った。茅野芽衣子協会職員が同行した。
 講 演：①「日本における腹腔鏡外科手術」
 ②「ERCP」
 事業評価：

日本の専門家は「ERCP」をテーマとした講演、日本発の新しい低侵襲術式及び世界初の学会主導技術認定システムについてをビデオを交えて紹介した。高いレベルの質疑応答が行われる一方で、テーマによっては理解されたか否か不明な部分もあった。予め受講者の希望を聞き、講演を準備する必要があると思う。

湘雅医院に於いて今年3回目の実施であるので、笹川生OBを中心に院内連携がとれており、研修事業に習熟している。世界の中でも日本が秀でている分野であるので、

今後も日本の現役医師と一緒に派遣し、日中双方に更に意義ある交流となるよう企画するべきである。

・ **口腔実用：四川大学華西口腔医学院(成都市)**

期 間：2015年11月15日(日)～27日(金)

実施責任者：

黄定明 四川大学華西口腔医学院教授
(23期生)

受講者：11名

甘肅省、青海省、寧夏回族自治区、新疆ウイグル自治区、西藏自治区、河北省の県レベルの病院に勤務する医師が受講した(甘肅省からの受講者3名のうち1名は自費参加)。上述の参加者以外に、四川大学口腔医学院から21名が受講した(中国側負担)。

専門家派遣：

岡野友宏 協会医療協力事業運営委員会一日中笹川医学協力プロジェクトWG委員(昭和大学名誉教授)が11月25日(水)～29日(日)の日程で訪問し、講演及び事業評価を行った。太田晶子事業担当が同行した。

講 演：「歯科医療における放射線：線量・人体影響・そして被曝低減」

事業評価：

研修全体としては、歯のモデルを使用した実技研修(加工実習)や、根幹治療、感染対策も含めた豊富な内容となっており、研修終了後のアンケート調査でも多くの参加者が今後も参加したいとの感想を述べていた。今後はバックグラウンドの異なる受講生の需要にどのようにして応えていくかを検討する必要がある。

(3) **中長期臨床研修**

期 間：2015年10月～2016年3月

受講者：12名 ※()内は研修医院/担当笹川生
外科 2名(中国医科大学/許 順
・15期生)、小児科 2名(山西省婦
幼保健院小児科/楊林海・23期生)、

内科(内分泌)：2名(延辺大学/裴海成・6期生)、看護：3名(四川大学華西医院・18期生)、病理：1名(第四軍医大学/郭 英・27期生)、
中西医結合：2名(黒龍江中医薬科学研究院・8期生)

概 要：

研修の目的は、専門領域に於いて診断、治療、管理を系統的に学び、レベルアップすることである。研修期間が長期であるので、指導教官も系統的に理論、実践の両面を学ぶことができ、効果が高い。また、受講者、指導教官、研修機関との関係制が築かれ、領域の拡大の可能性が広がった。

2) **ボランティア診療**

(1) **延辺ボランティア診療**

実施日：2015年8月23日(日)～24日(月)

場 所：吉林省琿春県人民医院

実施責任者：

裴海成 延辺大学医学部附属医院教授
(6期生)

参加者：

380名(琿春県人民医院及びその他に医療機関の医療人員)、笹川同学会会員4名

概 要：

同学会会員は各々の領域について講義を行い、その後分かれ、当地の医療関係者と難病の治療について討議した。また、共同で病棟回診を行い、重要事項や注意事項を伝えながら実施指導した。

(2) **蘭州ボランティア診療**

実施日：2015年9月13日(日)～15日(火)

場 所：甘肅省張掖市

実施責任者：

景 涛 蘭州大学教授(17期生)

参加者：

100名(張掖市の医師・看護師) 笹川同学会会員及びその弟子8名

概要：

9月13日に臨澤県人民医院で6名の医師が各診療科に分かれて病棟回診及びカンファレンスを行った。また、孫大為医師が「子宮頸がんの標準的診断及び治療」をテーマに講演を行った。

9月14日は張掖市医院で同様に病棟回診及びカンファレンスを行った。各科の医療人員と難病の具体的な治療について討議した。また、孫大為医師が「子宮頸がんの標準的診断及び治療」と「標準的な病棟回診及び注意事項」をテーマに講演を行った。

今回のボランティア診療研修は当地の医療人材の研修に於いて大きな効果があった。直接患者を診療するのではなく、当地の医療人員のレベル向上を目指す方式は需要に合っており、持続性がある。

3) 学術交流会の開催

開催日：2015年9月12日(土) 08:30~12:00

場所：蘭州国際大酒店(甘肅省蘭州市)

参加者：同学会理事、会員約40名、甘肅省衛生・計画生育委員会、日本財団、日中医学協会等50名

専門家派遣：

安達 勇 協会理事長(静岡県立静岡がんセンター参与)、江藤一洋 協会業務執行理事、医療協力事業運営委員会委員長(アジアデンタルフォーラム理事長)、小野喜志雄 協会監事(金沢大学教授)が参加した。本田伸吾 事務局長、太田晶子事業担当が同行した。

挨拶：

趙 群 同学会理事長、中国医科大学学長(10期生)

甘肅省衛生・計画生育委員会

尾形武寿 日本財団理事長

安達 勇 日中医学協会理事長

講演①：楊克虎 蘭州大学教授

「中国循証医学(Evidence-based medicine)の発展」

講演②：歐周羅 復旦大学腫瘍医院乳癌研究所(11期生)

「循証医学と腫瘍予防治療」

備考：同学会理事会が併催された。

(p.17「学術会議共催事業」参照)

4) 支部交流会の開催

(1) ハルビン支部交流会

開催日：2015年6月13日(土)

場所：哈爾濱銀河大酒店(黒竜江省哈爾濱市)

実施責任者：

李顕筑 黒龍江中西医结合研究所所長

(8期生)

参加者：東北地区の笹川同学会会員28名

概要：

李顕筑(8期生)、李暁陽(8期生)、黄樹明(10期生)、金在順(10期生)がそれぞれ講演を行った。また、同学会李忠金秘書長が2015年度事業計画と2016年度活動構想について説明を行った。

(2) 西安支部交流会

開催日：2015年7月4日(土)

場所：建国飯店(陝西省西安市)

実施責任者：

李国棟 西安交通大学外国語学院副教授

(16期生)

参加者：西北地区の笹川同学会会員約30名

専門家派遣：

範江林 協会評議員、広報委員会委員(山梨大学医学部教授)が参加した。太田晶子事業担当が同行した。

備考：

中国人民解放軍第四軍医大学所属の会員が中心となり実施した。2016年秋に開催する笹川医学奨学金制度30周年記念行事の周知を行い、参加会員から参加希望が寄せられた。

(3) 天津支部交流会

開催日：2015年7月11日(土)

場 所：ハイアットリージェンシー天津イースト（天津市）

実施責任者：

武継民 天津医療用設備研究所（23期生）

参加者：華北地区の同学会会員約40名（会員の学生を含む）

専門家派遣：

江藤一洋 協会業務執行理事、医療協力事業運営委員会委員長（アジアデンタルフォーラム理事長）が参加した。協会職員の岡田光子事務局次長が同行した。

備 考：

訪中中であった林利彦先生（元東京大学教授、武継民の指導責任者）を講師に招いた。

(4) 日本支部講演会

開催日：2015年8月8日(土)

場 所：名寄市立大学保健福祉看護学科
（北海道名寄市）

実施責任者：

袁世華 杏林中医薬情報研究所所長
（2期生）

参加者：名寄市立大学関係者、学生、一般等
83名

概 要：

袁世華（2期生）と謝海棠（21期生）がそれぞれ講演を行った。

(5) 長春支部交流会

開催日：2015年8月22日(土)

場 所：長春海航長白山賓館（吉林省長春市）

実施責任者：

趙樹華 吉林大学中日聯誼医院主任
（4期生）

参加者：東北地区の同学会会員約30名

専門家派遣：

江藤一洋 協会業務執行理事、医療協力事業運営委員会委員長（アジアデンタルフォーラム理事長）が参加した。協会職員の李高娃事業担当が同行した。

(6) 広州支部交流会

開催日：2015年10月11日(日)

場 所：珀麗大酒店（広東省広州市）

実施責任者：

王甲東 中山大学家庭医生雑誌編集長
（1期生）

参加者：広州地区の同学会会員約36名

専門家派遣：

山田陽城 協会評議員、広報委員会副委員長（東京薬科大学薬学部特任教授）が参加した。金粉花協会職員が同行した。

(7) 成都支部交流会

開催日：2015年11月28日(土)

場 所：四川大学天使賓館（四川省成都市）

実施責任者：

劉愛民 中国科学院輸血研究所副処長
（8期生）

参加者：四川大学華西医院所属の笹川同学会
会員、同会員の学生約30名

専門家派遣：

岡野友宏 協会医療協力事業運営委員会一日中笹川医学協力プロジェクトWG委員（昭和大学名誉教授）が参加した。太田晶子事業担当が同行した。

概 要：

李庭謙（1期生）、冉玉平（4期生）、胡秀英（18期生）丁群芳（25期生）がそれぞれ講演を行った。

5) 同学会事業監査

(1) 2014年度事業監査

実施日：2015年5月21日(木)

場 所：笹川同学会北京事務所

監査人：本田伸吾 協会事務局長

出席者：李忠金 同学会秘書長

吳久利 同学会会計担当

概 要：

2014年度4月～9月期の中間監査（2014年11月3日実施）結果を踏まえて、2014

年度の会計監査を行った。

対象期間：2014年4月1日～2015年3月31日

「日中笹川医学協力プロジェクト実施要綱」、「日中笹川医学協力プロジェクト事業別実施要領」、「笹川医学奨学金進修生同学会に対する事業費送金および精算に関する覚書」に基づき、証憑書類及びその支出一覧表の照合を実施した。

監査結果：

2014年度笹川同学会事業の会計決算は、概ね違反事項はなかった。

李忠金 秘書長

許 順 副秘書長

日中医学協会 安達 勇 理事長

本田伸吾 事務局長

岡田光子 事務局次長

太田晶子 事業担当

議 案：①笹川同学会事業について

②第38期研究者募集について

③笹川同学会法人化について

④笹川医学奨学金制度30周年記念行事開催について

(2) 2015年度事業中間監査

実施日：2015年11月24日(火)

場 所：笹川同学会北京事務所

監査人：本田伸吾 協会事務局長

出席者：李忠金 同学会秘書長

呉久利 同学会会計担当

陳 怡 同学会会計担当

電話照会；李 洪 公認会計士

概 要：

2014年度会計監査（2015年5月21日）結果を踏まえて、2015年度の中間会計監査を行った。

対象期間：2015年4月1日～2015年9月30日

「日中笹川医学協力プロジェクト実施要綱」、「日中笹川医学協力プロジェクト事業別実施要領」、「笹川医学奨学金進修生同学会に対する事業費送金および精算に関する覚書」に基づき、証憑書類及びその支出一覧表の照合を実施した。

監査結果：

2015年度笹川同学会事業の会計中間決算は、概ね違反事項はなかった。

5) 笹川同学会と日中医学協会の二者会談の実施

日 時：2015年4月9日(木) 10:00～11:30

場 所：協会事務所会議室

出席者：

同学会 趙 群 理事長

6) 日本財団による事業評価の実施

日本財団は1995年から助成事業に対する事業評価を行っており、2015年度は本事業が事業評価対象となった。

対象事業：日中笹川医学協力プロジェクト

評価機関：(株)国際開発センター

(日本財団業務委託先)

実施期間：2015年4月～2016年2月

評価結果：標準的

2. 医療の国際化に係わる事業（経済産業省の事業等）

2015年度事業として実施予定であったが、経済産業省の公募状況に鑑み、安達勇理事長と本事業担当の江藤一洋業務執行理事が協議の結果、実施を見送ることとした。

3. 専門家派遣事業

1) 日中笹川医学協力プロジェクトに係わる専門家の派遣 (p.18～22 参照)

2) 2015年中日国際消化疾病論壇への専門家の派遣

日 時：2015年8月29日(土)

場 所：中日友好医院

被派遣者：日比紀文 北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先端治療センター長

講演：炎症性腸疾患(IBD)における免疫統御療法の新展開

酔科教授ら 9 名

4. 医療関連訪日団招請事業

1) 医療関連訪日団の招請

2015 年度は、13 件の訪日団の招請や病院視察等の手配を行った。

(1) 海南現代婦嬰医院訪日団招請

目的：日本の先進的な母子保健医療・産後ケアサービス及び病院管理について視察
期間：2015 年 5 月 17 日(日)～24 日(日)
訪問先：山王病院、とよくら産後ケアハウス、国際医療福祉大学三田病院
訪日者：李日成 海南現代婦嬰医院総経理ら 7 名

(2) 薬品安全管理視察訪日団招請

目的：日本の薬品安全管理について視察
期間：2015 年 7 月 7 日(火)～11 日(土)
訪問先：北海道大学薬学研究院、北海道大学病院薬剤部、北海道薬剤師会
訪日者：徐彦貴 天津市第一中心医院主任薬剤師ら 9 名

(3) 日本の病院における高齢者の栄養管理視察団招請

目的：日本の先進的な医療機関における高齢者栄養管理の取組みについて視察
期間：2015 年 7 月 27 日(月)
訪問先：東京大学医学部附属病院（講義のみ）
訪日者：于普林 衛生部北京老年医学研究所副所長ら 15 名

(4) 麻酔専門家訪日団招請

目的：日本の先進的な癌治療について視察
期間：2015 年 10 月 11 日(日)～11 月 8 日(金)
※4 回に分かれて来日
訪問先：国立がん研究センター等
訪日者：孫 莉 中国医学科学院肿瘤医院麻

(5) 麻酔専門家訪日団招請

目的：日本臨床麻酔学会第 35 回大会への参加
期間：2015 年 10 月 20 日(火)～24 日(土)
訪日者：倉 静 復旦大学附属中山医院行政副主任ら 3 名

(6) 胸部外科専門家訪日団招請

目的：第 68 回日本胸部外科学会定期学術集会への参加
期間：2015 年 10 月 16 日(金)～20 日(火)
訪日者：高樹庚 中国医学科学院肿瘤医院胸部外科主任医師ら 10 名

(7) 消化器内視鏡専門家訪日団招請

目的：日本の先進的な内視鏡診断治療の視察及び日本の専門家との交流
期間：2015 年 11 月 8 日(日)～12 日(木)
訪問先：静岡県立静岡がんセンター
訪日者：和水祥 西安交通大学附属第一医院消化器科主任ら 5 名

(8) 長治市雲峰医院訪日団招請

目的：日本の優れた高齢者ケア、医療サービスについて視察
期間：2015 年 11 月 18 日(水)～25 日(水)
訪問先：東京都健康長寿医療センター、浴風会ケアハウス、静岡県立静岡がんセンター
訪日者：徐雲峰 長治市雲峰医院董事長ら 3 名

(9) 中国人体健康科技促進会訪日団招請

目的：日本の画像診断技術及び最新の医療機器視察
期間：2015 年 11 月 27 日(金)～12 月 2 日(水)
訪問先：病院参観及び医療機器メーカー視察
訪日者：馬 丹 中国人体健康科技促進会項目部主任ら 3 名

(10) 南京医科大学第一附属医院心臓科専門家訪日団招請

目的：Japan Endovascular Treatment

Conference 2016 への参加

期間：2016年2月17日(水)～21日(日)

訪日者：孔祥清 南京医科大学第一附属医院心臓科主任医師ら2名

(11) 日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン、科学技術振興機構事業）

目的：アジア諸国から約2,000人の40歳以下の青少年を短期に招聘し、科学技術分野における交流と理解を深める。

期間：2016年2月23日(火)～27日(土)

訪問先：静岡県立静岡がんセンター、国立国際医療センター、順天堂大学医学部附属順天堂医院、テルモメディカルプラネックス見学、薬局視察（OTC医療品流通現場視察）

講演：安達 勇 日中医学協会副会長

「日本の医療システムや医療保険制度について」

訪日者：笹川同学会から推薦を受けた者5名
中日友好医院から推薦を受けた者6名

(12) 中国整形外科（人工関節）専門家訪日団招請

目的：第46回日本人工関節学会への参加

期間：2016年2月25日(木)～28日(日)

訪日者：馬 興 西安交通大学第一附属医院骨科副主任ら8名

(13) 薬品安全管理視察訪日団招請

目的：日本薬学会第136年会参加及び日本の病院薬剤部の管理体制と薬品安全管理の視察

期間：2016年3月24日(木)～28日(月)

訪問先：東京通信病院

訪日者：閻峻峰 四川省人民医院薬剤科主任ら15名

2) 中国人医療関係者招請・研修

2015年度は、4件の訪日者の視察・研修・セミナー参加等の手配を行った。

(1) 2015年度中国国家級公衆衛生政策計画管理プロジェクト（突発的公衆衛生課題）（JICA 研修事業）

目的：①日本の突発的かつ重大な感染症に対する危機管理体制を理解する。

②日本の災害時の医療体制を理解する。

③健康危機管理、災害時の医療体制について自国の改善策を提案する。

期間：2015年6月23日(火)～7月3日(金)

訪日者：梁占凱（河北省衛生・計画生育委員会副主任）を団長とする中国各省の衛生・計画生育委員会副主任、中国国家衛生・計画生育委員会応急弁公室処長ら10名

訪問先：厚生労働省健康危機管理対策室、国立病院機構災害医療センター、国立国際医療研究センター国際感染症センター、国立感染症研究所、東北大学病院、石巻赤十字病院、福島県立医科大学

(2) 中日友好医院派遣医師招請

目的：第77回日本臨床外科学総会、第71回日本消化器外科学会総会への参加

期間：2015年11月25日(水)～29日(日)

訪日者：姚 力 中日友好医院消化器内視鏡センター副主任

(3) 蘇州市立医院派遣看護師・医師研修

研修者：賈沙風 婦産科主管護師

裘 琳 婦産科護師

顧莉娟 肝胆外科主管護師

丁学兵 呼吸器外科副主任醫師

桂 千 神経内科主治醫師

研修先：東邦大学看護学部・医学部

指導責任者：近藤麻里 看護学部国際保健看護学研究室教授

舘田一博 医学部国際交流センター長
期 間：賈沙風 2015年9月4日(金)
～11月29日(日)

裘 琳、顧莉娟
2015年12月4日(金)
～2016年2月28日(日)

丁学兵、桂 千
2016年3月1日(火)
～5月28日(土)

(4) 浙江大学附属医学院附属邵逸夫医院派遣医師 研修

研修者：宋章法 結直腸外科副主任医師
研修先：静岡県立静岡がんセンター
指導責任者：絹笠祐介 大腸外科部長
期 間：2015年12月1日(火)～21日(月)

5. 訪中団派遣事業

2015年度日中笹川医学協力プロジェクト：学
術交流会 (p.20 参照) への協会役員の派遣のみ
実施した。

6. その他医療協力事業

1) 日中医学協会と中日友好医院との事業協力

中日友好医院 (王雲亭副院長) の提案に基づ
き、2015年8月2日(日)、「日中医学協会と中日
友好医院との協力事業協議書」に調印した。

実際の事業内容と実施体制等の具体的な事項
については、事業個別の「協議書」によること
とし、今後協議していく事業協力分野の意向を
示す協議書(意向書)にとどめた。

協議書の事業協力分野は以下の通りである。

- (1) 看護における全面協力
- (2) 医療技術研修センターの設置
- (3) リハビリテーション領域の協力
- (4) 癌(腫瘍)治療と遺伝子検査領域の協力
- (5) 先端診療センターの設置
- (6) 中医(漢方)薬の交流と協力

エ 広報事業

1. 機関誌『日中医学』の発行

機関誌『日中医学』第30巻1～4号を以下の通
り発行した。

第1号(2015年5月発行)

特集：「日中における不妊症治療の現状と課
題」

第2号(2015年8月発行)

特集：「新興感染症と熱帯病の治療と対策」

第3号(2015年11月発行)

特集：「日中における内視鏡診断治療の現状
と課題」

第4号(2016年3月発行)

特集：「日中医学協会財団設立30周年記念事業」

2. 機関紙『NEWS LETTER』の発行

機関紙『NEWS LETTER』No.36～No.38を以下の通
り発行した。

No.36(2015年4月発行)

記事：巻頭言「日中医学協会2015年度を迎え
て」他

No.37(2015年8月発行)

記事：巻頭言「第2回日中医学交流フォーラ
ムを終えて」他

No.38(2015年12月発行)

記事：巻頭言「日中医学協会財団設立30周年
記念行事を終えて」他

3. 中国医学・医療機関への機関誌『日中医学』の メール配信

中国の医療機関・医療関係者に機関誌『日中
医学』の特集ページ(中国語部分)を約1,000
名にメール配信した。

4. 「International Chinese Journal of Dentistry」へ の協力

Sponsoring Organizationとして協力した。

委員会開催報告

1. 共同研究等助成事業委員会

1) 第1回委員会

日 時：2016年3月2日(水) 16:00～17:00

場 所：協会事務所会議室

出席者：委員6名、委任状出席2名、外部専門家審査委員1名

報告事項：

① 2015年度助成事業に関する報告事項

審議事項：

② 2016年度共同研究等助成金受給者選考

2. 医療協力事業運営委員会合同委員会

1) 第1回委員会

日 時：2015年7月6日(月) 18:30～19:30

場 所：学士会館

出席者：委員10名、委任状出席2名、安達勇理事長、小川秀興理事

報告事項：

① 医療協力事業運営委員会改編について

② 各WGの報告

③ 2015年度事業の事業計画・予算について

協議事項：

① 2016年度事業計画について

② 今後の事業の方向性について

3. 医療協力事業運営委員会

—日中笹川医学協力プロジェクトWG

1) 第1回WG

日 時：2015年7月6日(月) 18:30～19:30

場 所：学士会館

出席者：委員4名、委任状出席1名

報告事項：

① 医療協力事業運営委員会改編について

② 日中笹川医学協力プロジェクトWGと日中医療交流推進WGの報告

③ 2015年度事業計画・予算について

協議事項：

① 2016年度事業計画について

② 2016年度経済産業省事業申請について

③ 今後の事業の方向性について

2) 第2回WG

日 時：2015年8月31日(月) 18:00～19:30

場 所：協会事務所会議室

出席者：委員4名、委任状出席1名

報告事項：

① 日中笹川医学奨学金制度進捗状況

② 笹川同学会事業進捗状況

協議事項：

① 第38期以内諾未取得者に対する支援について

② 第39期、第40期研究者の募集に向けて

③ 2016年度笹川同学会事業提案

3) 第3回WG

日 時：2015年10月2日(金) 18:00～19:00

場 所：協会事務所会議室

出席者：委員4名、委任状出席1名、同学会1名
(研究者セミナー出席のため来日)

報告事項：

① 第37期研究者の研修状況、第38期研究者への応募状況

② 笹川同学会事業進捗状況報告

協議事項：

① 第38期研究者の選考について

② 2016年度笹川同学会事業計画について

4) 第4回WG

日 時：2016年3月9日(水) 15:30～17:00

場 所：学士会館

出席者：委員4名、委任状出席1名

報告事項：

① 第37期研究者の研修状況、第38期研究者の入国準備状況、第39期研究者の募集開始

② 笹川同学会事業進捗状況報告

③ 2016年度事業計画・予算について

協議事項：

- ① 第 39 期研究者募集にかかわる内定支援のあり方について
- ② 2016 年度笹川同学会事業における専門家派遣のあり方について
- ③ 第 4 次制度の改善点について

4. 医療協力事業運営委員会

－日中医療交流推進プロジェクトWG

1) 第 1 回 WG

日 時：2015 年 7 月 6 日(月) 19:30～20:00

場 所：学士会館

出席者：委員 6 名、委任状出席 1 名

報告事項：

- ① 日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プロジェクト第 1 期報告

協議事項：

- ① 同プロジェクト第 2 期以降の選考について
- ② 研修プログラムと評価システムについて

2) 第 2 回 WG

日 時：2015 年 11 月 30 日(月) 18:30～19:30

場 所：協会事務所会議室

出席者：委員 5 名、委任状出席 2 名

報告事項：

- ① 日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プロジェクト第 2 期～第 5 期協定書締結報告

協議事項：

- ① 同プロジェクト第 2 期研修医の選考、研修先の選定について
- ② 研修プログラムと理解度チェックシートの策定について

5. 広報委員会

1) 第 1 回委員会

日 時：2015 年 4 月 30 日(木) 18:30～20:00

場 所：東京ガーデンパレス

出席者：委員 7 名、委任状出席 2 名、林謙治業務執行理事（担当理事）

報告事項：

- ① 『日中医学』『NEWS LETTER』発行報告
- ② 『日中医学』VOL. 30 の進捗状況
- ③ 『日中医学』特集テーマに関する一般投稿受付状況
- ④ 『日中医学』『NEWS LETTER』広告掲載申込み状況

協議事項：

- ① 副委員長の選任について
- ② 『日中医学』VOL. 30 NO. 4「日中医学協会財団設立 30 周年事業特集」掲載内容について
- ③ 『日中医学』特集テーマに関する一般以外の投稿原稿に対する対応について
- ④ 協会パンフレット・ホームページのリニューアルについて

2) 第 2 回委員会

日 時：2015 年 7 月 7 日(木) 18:00～20:20

場 所：東京ガーデンパレス

出席者：委員 9 名、委任状出席 1 名、林謙治業務執行理事（担当理事）

報告事項：

- ① 『日中医学』『NEWS LETTER』発行報告
- ② 『日中医学』VOL. 30 の進捗状況
- ③ 『日中医学』特集テーマに関する一般投稿受付状況
- ④ 『日中医学』『NEWS LETTER』広告掲載申込み状況

協議事項：

- ① 『日中医学』VOL. 31 の特集テーマについて
- ② 『日中医学』VOL. 30 NO. 4「日中医学協会財団設立 30 周年事業特集」掲載内容について

3) 第 3 回委員会

日 時：2016 年 1 月 22 日(金) 18:30～20:00

場 所：東京ガーデンパレス

出席者：委員 9 名、委任状出席 1 名、林謙治業務執行理事（担当理事）

報告事項：

- ① 『日中医学』 『NEWS LETTER』 発行報告
- ② 『日中医学』 VOL. 31 の進捗状況
- ③ 『日中医学』 特集テーマに関する一般投稿
受付状況
- ④ 『日中医学』 『NEWS LETTER』 広告掲載申込
み状況

協議事項：

- ① 『日中医学』 VOL. 30 NO. 4 「日中医学協会財
団設立 30 周年事業特集」について
- ② 『日中医学』 VOL. 31 の特集テーマについて
- ③ 『日中医学』 VOL. 31 の広告掲載について
- ④ 『NEWS LETTER』 NO. 39～41 の掲載内容、広
告掲載について

6. その他の会議

1) 協会財団設立 30 周年記念事業 WG

日 時：2015 年 10 月 9 日(火) 18:30～20:00

場 所：協会事務所会議室

出席者：委員 3 名、委任状出席 1 名

報告事項：

- ① 記念行事プログラムについて
- ② 中国招待者・滞在スケジュール
- ③ 記念行事参加者数（個人・法人）
- ④ 記念行事寄附者（個人・法人）

協議事項：

- ① スライド内容（式典、シンポジウム、レセ
プション）と配布物の制作について
- ② 記念行事 VIP 対応について
- ③ 記念事業収支予算について

【協会設立 30 周年記念事業ワーキンググループ】

委員長 林 謙治 業務執行理事

委 員 庄田 隆 理事

〃 日比紀文 理事

〃 星合 昊 監事

2) 将来検討委員会（第 1 回日中笹川医学協カプロジェクト第 5 次制度検討会）

日 時：2016 年 3 月 9 日(水) 18:30～19:40

場 所：学生会館

出席者：委員等 7 名

議 事：

- ① 2016 年 3 月 2 日付「日中笹川医学協カプロジェクト第 5 次制度のあり方について（諮問ーその 2）」の内容及び趣旨確認
- ② 委員の基本的役割、委員別役割の委託
- ③ 要所・要人宛の文書発信

【将来検討委員会（日中笹川医学協カプロジェクト第 5 次制度のあり方検討会）】

委 員 小川秀興 理事長

〃 安達 勇 副会長、理事

〃 新井 一 業務執行理事

〃 江藤一洋 業務執行理事

〃 林 謙治 業務執行理事

〃 日比紀文 業務執行理事

〃 小野喜志雄 監事（オブザーバー）

総務報告

I. 日中医学協会財団設立 30 周年記念事業

2015 年に財団設立 30 周年を迎え、記念事業として、記念式典・記念シンポジウム・レセプションの開催、及び機関誌『日中医学』VOL. 30 NO. 4「日中医学協会財団設立 30 周年記念事業特集」を発行した。

(p. 4「日中医学協会財団設立 30 周年記念事業」参照)

II. 財務基盤の拡充

A. 会員拡大

1. 会員数の推移

	2015年 4月1日現在	2015年度 入退会	2016年 3月末現在
名誉会員	7名	入会 1名 退会 0名	8名
個人会員	416名	入会33名 退会39名	410名
法人会員	68社	入会 7社 退会 7社	68社
特別会員	3社	入会 0社 退会 0社	3社

※会員規程第 9 条第 2 項に基づき、2013 年度から 3 年間会費未納の者（法人を含む）は、2016 年 3 月 31 日をもって退会扱いとした。

B. 募金活動

1. 一般寄付金・特別寄附金

団体・法人・個人にご協力戴いた寄附金は、当協会が実施した研究助成事業、医療協力事業に充当した。

1) 一般寄付金

a. 団体・法人 2 件 計 3,070,000 円

2) 特別寄附金

a. 団体・法人 1 件 計 10,039,000 円

2. 協会財団設立 30 周年記念事業に対する寄附（協賛）

個人会員・団体・法人にご協力いただいた寄附金は、財団設立 30 周年記念事業に充当した。

寄附金総額：9,070,000 円

(p. 7「財団設立 30 周年記念事業に対する寄附（協賛）」参照)

C. 日本財団に対する助成金申請

2016 年 2 月 25 日付で 2016 年度助成金申請に対する助成金交付決定及び審査結果の通知があった。

- ① 日中笹川医学協力プロジェクトに対する助成
助成金額 71,660,000 円
- ② 基盤整備事業
助成金額 29,530,000 円
- ③ 日中医学学術交流大会（笹川医学奨学金制度
30 周年記念行事）実施
助成金額 37,690,000 円

①+②+③計 138,880,000 円

Ⅲ. 協会運営に係る事項

A. 理事改選及び各委員会委員改選並びに各委員会規程等の改定

1. 任期満了に伴う理事改選及び代表理事の選定

(p. 1 参照)

2. 監事の選任

(p. 2 参照)

3. 評議員、副会長の辞任に伴う補欠選任

(p. 2 参照)

4. 代表理事の辞任に伴う代表理事の選定

(p. 3 参照)

5. 業務執行理事の選定

(p. 3 参照)

6. 各委員会委員の改選

各委員会委員の任期満了に伴い（2015年3月31日）に伴い、公益第6回理事会（2015年3月11日開催）に於いて各委員会委員が選任された。委員任期は2017年3月31日までとなる。

(p. 9「2015年度委員会委員名簿」参照)

7. 医療協力事業運営委員会の改編

医療協力事業運営委員会については、任務が集中しているため、事業内容を考え併せて検討し、委員会改編を行うことが公益第6回理事会に於いて決議され、医療協力事業運営委員会に「日中笹川医学協力プロジェクト WG」と「日中医療交流推進プロジェクト WG」の2つのWGを設置した。

(p. 9「2015年度委員会委員名簿」参照)

B. 日中医学協会将来検討委員会の設置

2016年3月9日、理事長、業務執行理事を中心とした将来検討委員会（日中笹川医学協力プロジェクト第5次制度のあり方検討会）が発足した。

(p. 29「将来検討委員会名簿」参照)

日中笹川医学奨学金制度第 37 期研究者名簿 (2015 年 4 月～2016 年 3 月)

氏名	所属機関	受け入れ機関	指導責任者
	研究テーマ		
許 光輝	廈門市医薬研究所・副研究員 (准教授) 天然化合物のインスリン抵抗性および脂肪細胞肥大化に対する抑制効果の検討	東北薬科大学分子生物膜研究所	井ノ口仁一 教授
孫 艶彬	中国医科大学附属第一医院・主治医師 (講師) 非小細胞肺癌に於いて微小脈管浸潤とUICC第8版新病期分類が術後予後に及ぼす影響の研究	東京大学医学部附属病院呼吸器外科	中島 淳 教授
孫 志鵬	首都医科大学附属北京世紀壇医院・主治医師 (講師) En-bloc切除の技術と膵臓癌に対して腹腔鏡下膵体尾部切除の予後評価	東京大学医学部附属病院肝胆膵外科	國土典宏 教授
馮 梅	四川大学華西医院・護士 (助教) 訪問介護と通所介護の費用への事業所特性の影響に関する研究	東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻	山本則子 教授
羅 楠	昆明市疾病预防控制中心・主管医師 (講師) 臨床材料から分離される病原体の分子生物学的手法に基づく菌種同定および耐性因子の特定法の構築	東邦大学医学部微生物・感染症学	石井良和 教授
李 江波	長治医学院附属和平医院・医師 (助教) 広頸脳動脈瘤に対するLVIS Jr. ステント支援下血管内治療の2例	順天堂大学大学院医学研究科脳神経外科学	新井 一 教授
劉 麗娟	寧夏医科大学総医院・副主任護師 (准教授) アトピー性皮膚炎患者唾液のストレスマーカーの検討	島根大学医学部皮膚科学	森田栄伸 教授

日中消化器内視鏡診断治療・病理合同研修プロジェクト第2期研修生名簿

(2016年2月～3月)

氏名	所属機関	受け入れ機関	指導責任者
竇利州	中国医学科学院腫瘍医院 内視鏡科・住院医师（研修医）	順天堂大学医学部附属順天堂医院 消化器内科	渡辺純夫 主任教授
薛麗燕	中国医学科学院腫瘍医院 病理科・副主任医師（准教授）	順天堂大学医学部附属順天堂医院 病理診断部	八尾隆史 部長
蔣青偉	中国医学科学院北京協和医院 消化器内科・主治医師（講師）	順天堂大学医学部附属順天堂医院 消化器内科	渡辺純夫 主任教授
游燕	中国医学科学院北京協和医院 病理科・主治医師（講師）	順天堂大学医学部附属順天堂医院 病理診断部	八尾隆史 部長
董海燕	山東省千佛山医院 内視鏡診断科・主治医師（講師）	東邦大学医療センター大森病院 内視鏡部	五十嵐良典 部長
崔晶	山東省千佛山医院 病理科・副主任医師（准教授）	東邦大学医療センター大森病院 病理診断科	澁谷和俊 教授
鄭汝樺	南京鼓楼医院 消化器内科・主治医師（講師）	がん研究会有明病院 消化器内科	五十嵐正広 部長
馮安寧	南京鼓楼医院 病理科・主治医師（講師）	がん研究会有明病院 臨床病理センター	石川雄一 センター長
陳巍峰	復旦大学附属中山医院 内視鏡センター・主治医師（講師）	静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科	小野裕之 部長
劉亜嵐	復旦大学附属中山医院 病理科・主治医師（講師）	静岡県立静岡がんセンター 病理診断科	中島孝 部長

日中医学協会役員等名簿（任期：2017年度定時評議員会の終結の時まで）

評議員	池田 裕	医療法人光陽会磯子中央病院名誉院長
〃	石井 正三	公益社団法人日本医師会常任理事
〃	石館 光三	公益財団法人東京生化学研究会常務理事
〃	一戸 達也	東京歯科大学副学長
〃	稲葉 裕	順天堂大学名誉教授
〃	緒方 剛	茨城県古河保健所所長
〃	金井 隆典	慶應義塾大学教授
〃	洪 愛子	公益社団法人日本看護協会常任理事
〃	小林 慶太	公益社団法人日本歯科医師会常務理事
〃	杉山 清	星薬科大学副学長
〃	曾根 智史	国立保健医療科学院企画調整主幹
〃	高橋 和久	順天堂大学教授
〃	高松 研	東邦大学医学部長
〃	寺本 明	独立行政法人労働省健康福祉機構東京労災病院院長
〃	中尾 浩治	テルモ株式会社代表取締役会長
〃	根本 則道	日本大学教授
〃	範 江林	山梨大学教授
〃	藤原 英憲	公益社団法人日本薬剤師会常務理事
〃	松本 謙一	サクラグローバルホールディング株式会社代表取締役会長
〃	山口 建	静岡県立静岡がんセンター総長
〃	山田 陽城	東京薬科大学特任教授
名誉会長	杉村 隆	国立研究開発法人国立がん研究センター名誉総長
〃	森岡 恭彦	日本赤十字社医療センター名誉院長
会長（代表理事）	高久 史麿	日本医学会会長
理事長（代表理事）	小川 秀興	学校法人順天堂理事長
副会長	安達 勇	静岡県立静岡がんセンター参与
〃	坂本 すが	公益社団法人日本看護協会会長
〃	住友 雅人	日本歯科医学会会長
〃	堀 憲郎	公益社団法人日本歯科医師会会長
〃	山本 信夫	公益社団法人日本薬剤師会会長
〃	横倉 義武	公益社団法人日本医師会会長
業務執行理事	新井 一	順天堂大学医学部長
〃	江藤 一洋	一般社団法人アジアデンタルフォーラム理事長
〃	林 謙治	国立保健医療科学院名誉院長
〃	日比 紀文	北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター長
理事	安達 勇	静岡県立静岡がんセンター参与
〃	跡見 裕	杏林大学学長
〃	池谷田鶴子	順天堂大学国際交流センター運営委員
〃	尾身 茂	独立行政法人地域医療機能推進機構理事長
〃	木村 政之	日本製薬団体連合会理事長

- // 近藤 達也 独立行政法人医薬品医療機器総合機構理事長
- // 庄田 隆 第一三共株式会社相談役
- // 手代木 功 塩野義製薬株式会社代表取締役社長
- // 林崎 良英 国立研究開発法人理化学研究所社会知創成事業予防医療・診断技術開発プログラム
- // 平岡 眞寛 京都大学教授
- // 堀田 知光 国立研究開発法人国立がん研究センター理事長
- // 松原 謙二 公益社団法人日本医師会副会長
- // 三宅 養三 学校法人愛知医科大学理事長
- // 武藤徹一郎 公益財団法人がん研究会有明病院メディカルディレクター・名誉院長

- 監 事 小野喜志雄 国際医療福祉大学大学院教授
- // 金井 淨 公認会計士
 - // 星合 昊 社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会富田林医療福祉センター総長

- 顧 問 趙 群 遼寧省政治協商会議常務委員
- 山本 續子 公益社団法人日本女医会会長

2015年度事業報告附属明細書
公益財団法人日中医学協会
TEL 03-5829-9123
FAX 03-3866-9080
発行日 2016年5月13日
発行人 小川秀興

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-4-3住泉KMビル6階